

金沢市歌

■大正12年5月30日制定(1923年)■

鴻巣 盛広 作詞
金沢市唱歌研究会 作曲



1. ふ たつ の な がれ ー と おな がく
2. ナ ーガ メ ツ キセ ヌ ケ ンロ クノ
3. ぶ んか の う しお ー は やけ れど



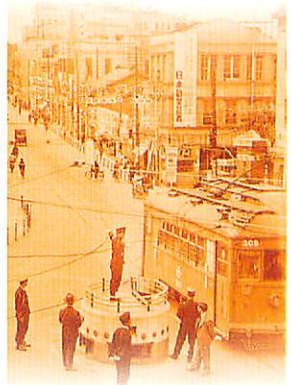
れ いた く す んで ー わ くと こ ろ
ソ ノニ ハ ヒ トノ ー カ ゲタ エ ズ
ち のり ひ と のわ ー か くる な く



い らか の か ずの ー ひ にそ いて
イ チビ ト ワ ザヲ ー イ ソシ メバ
こ こほ く り くの ー ち うし んと



お のず か ら なる ー だ いと か い
チ マタ ニ セ イキ ー ア フレ タリ
と わに さ か えん ー か なざ わし



香林坊交差点 昭20代



第46回国体開会式 平3

一 二つの流れ遠長く

霊沢澄んで湧く所
薨の数の日に添ひて

自らなる大都会

二 眺め尽きせぬ兼六の

園には人の影絶えず
市人業をいそしめば
巷に生氣溢れたり

三 文化の潮早けれど

地の利人の和欠くるなく
此処北陸の中心と

永久に栄えん金沢市

♪ 明るく元気に、うれしさを込めて歌いましょう

主なことばの意味

ふたつ ふたつ の流れ…犀川と浅野川の流れ
 霊沢 れいさく ……兼六園にある湧き水「金城霊沢」
 薨 むかし ……屋根瓦のことで、当時は屋根は板ぶきが多かつた
 自から みづか ……もとからもっている、自然に
 兼六の園 けんりく ……兼六園のこと(宏犬、幽邃、人力、蒼古、水泉、眺望の特色を兼ね備えている)
 市人 いちにん ……市で物を売る人から広く市民
 仕事 しごと ……仕事
 まちの中 まちのなか ……まちの中
 文化の流 ぶんかのなが ……文化の流れ
 地の利 ちのり ……その土地のもっている特徴



大好きなこのまち、
みんなで歌いましょう
金沢の歌。



歌の紹介

わたしたちが住むまち金沢には、
長い歴史のあいだにつくられ、
多くの人たちに歌われ、
親しまれてきた歌があります。
それぞれの歌には、そのときどきの
社会の背景があり、
人びとのくらしがえがかれ、
人びとのふるさと金沢への願いが
つづられています。
みんなの宝として、
世紀をこえて大切に歌いついで
いきたいものです。